

大阪狭山市 新型コロナウイルス IgG抗体 保有調査結果

令和2年 6月29日から7月3日にかけて、大阪狭山市において表記抗体検査の希望者から無作為に抽出し、本調査への参加に同意された大阪狭山市民の300人を対象に抗体検査を実施しました。

本調査では、ラボウの新型コロナウイルス抗体検査試薬キット(イムノクロマト法)を用いて、血中IgG抗体検査を行いました。

結果

抗体検査実施予定者数：300人
実際に抗体検査が行われた人数：278人
IgG抗体陽性者数：2人
今回の調査における IgG抗体保有率：0.72 %

総検査数が少ないので、抗体保有率にはある程度、誤差が生じやすくなっていますが、今回の調査における IgG抗体保有率は0.72 %と、大阪狭山市民の大半の人が抗体を保有していないという結果でした。

この調査は、過去に新型コロナウイルスに感染した人の割合を推定しようとするものであり、現在の感染を診断するための検査ではありません。

結果が陽性であっても症状がなければ隔離や受診の必要はありません。

また、結果が陽性の場合、2回目の感染を防ぐ効果があるかどうかは、現時点では不明です。引き続き3つの密を避け、マスク着用と適切な手洗いの励行をお願いいたします。
